

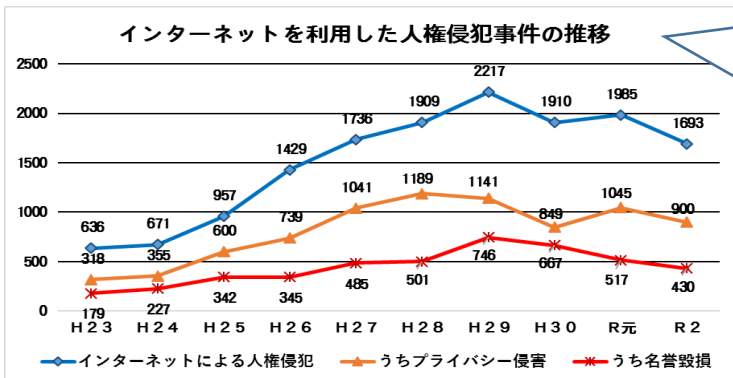
未来

人権教育啓発シリーズ NO.1



★この『未来』は、学校で進める人権教育を御理解いただくとともに、子供も大人も、共に人権意識を育てていく一助としての啓発紙です。本年度も様々なテーマで作成してまいりますので、お読みいただければ幸いです。
★今回は「SNS、インターネット学びの環境」をテーマに取り上げたいと思います。

日光市でも児童生徒一人に一台のタブレットが貸与され、名実ともに児童・生徒のための世界につながる革新的な扉「Global and Innovation Gateway for All」(GIGA)が開かれました。これにより子供たちの学びが今まで以上に深く充実したものになることと思います。しかし、一方で、SNS等も身近になるため、子供たちにはインターネットリテラシー・マナー等のより一層の向上が今後大切になります。



インターネットでのコミュニケーションの輪が広がる一方で、他人への中傷や侮蔑、無責任なうわさ、特定の個人のプライバシーに関する情報の無断掲示、差別的な書き込みやインターネット上でのいじめなどの行為も増えています。

インターネット上には人権やプライバシーの侵害につながる情報も多く流れています。

デジタルタトゥー

デジタルタトゥーという言葉を知っていますか。インターネット上に一度投稿した内容は、拡散されると完全に消去する方法が少なく、半永久的にインターネット上に残るということを表した言葉です。軽はずみな発言や動画の投稿が自分や誰かの人生に大きな悪影響を及ぼす可能性があることを忘れてはいけません。



だれもがインターネットや SNS を気持ちよく使うために



① 人の悪口や差別的な内容など他人を傷つける内容は絶対に書き込みません

目の前に相手がいなくても普段の生活同様、相手の気持ちを考え、思いやることが大切です。また、自分の発信している内容で、自分にそのつもりがなくても、場合によっては他人を傷つけてしまうことがあることを常に意識しましょう。

② 他者視点を持ちます

「他の人も自分と同じ」と思わないこと。他の人が自分の投稿を見たらどう思うか、誰かが不快に思わないだろうかという視点をもつことが必要です。また、発信した情報は自分に好意をもつ人ばかりでなく、悪意をもつ人にも見られる可能性があります。

③ 根拠のないうわさ話や出处不明の情報を安易に載せたり拡散させたりしません

インターネット上には根拠のない不確かな情報もたくさんあります。確かな情報か、発信してもよい内容かよく考えましょう。

④ 個人情報に注意！他人の個人情報を無断で載せません

自分の個人の情報はもちろん、自分以外の人々の個人情報にも十分に気を配りましょう。保護者が子供の名前・写真・学校名(園名)などの個人情報を載せるケースが増えてきていますが、それは大きなリスクを抱えています。